

基本施策C1 交流を活かした地場企業の活性化と域内経済の循環を促します

主管課：商工振興課

個別施策

- C1-1 域外からの外貨獲得をめざす地場企業を支援します
- C1-2 商店街・商店の利用を促進します
- C1-3 卸売市場機能の充実と強化を図ります

ア 施策の目的

地場企業が、地域資源を活かした魅力ある製品・サービスの開発により、域外からの来訪者や市民による売上を増やしている

イ 基本施策の評価

D c 目標を達成しておらず、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている

ウ 成果指標（「△」は目標値を上回ることが望ましい指標、「▽」は目標値を下回ることが望ましい指標）

指標名	基準値 (時期)	区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3	
観光消費額（飲食・土産代）の1人当たり単価	10,467 円 (26年度)	△	目標値	10,811	11,155	11,498	11,842	12,186	12,186
		△	実績値	10,215	11,079	12,437	12,453	11,530	11,043
		△	達成率	94.5%	99.3%	108.2%	105.2%	94.6%	90.6%

エ 評価結果の妥当性

本部会での議論を踏まえて考えると、評価結果については妥当であると判断する。

オ 審議会における政策評価に関する意見

なし

カ 審議会における施策推進に向けた提案

- (1) 今後、コロナが収束するにあたって、今まで無利子で融資を受けていた企業の返済が始まり倒産が増えてくると思う。一方で、リベンジ消費も期待されるので、守りの支援と攻めの支援に両面から取り組んでほしい。
- (2) シュガーロードについては、長崎に由来した物語性のある商品づくりが必要であると思う。全国至るところに名産品や名物と呼ばれるものがあるが、物語性を持つと文化と融合してさらに強固なものになると思うので検討していただきたい。

(3) 駅周辺の再開発に伴い、今後まちなかへの回遊性を高めることが重要になると思うが、まちなかへの回遊については、前部会長からも提案があった、「(通称) 金沢モデル」を調査して活用することができないか検討していただきたい。